

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市社会福祉協議会）

令和7年度 第1回地域ケア推進会議を開催！

今年度第1回の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議が、5月27日に開催されました。

今回は、年度が替わって委員が変更になっていることから、顔合わせやこの会議の目的や進め方を共有し、以下二つの取り組みについて協議を行いました。

福祉施設の「空き車両」を活用した移動支援について

～生活支援体制整備事業～

●これまでの振り返り

地域包括支援センターに寄せられた地域住民からの声の中に「サロン活動に行きたいけど、自力だと行けない」「足が上がらないから、こもろ愛のりくんに乗ることが出来ない」等といった声が出たことから、令和5年度より社会福祉法人浅間福祉会と移動支援のモデル事業実施に向け検討し、令和6年度より事業を開始しました。

●令和6年度～令和7年4月活動実績

介護保険サービス事業所	地区	利用人数（名）
社会福祉法人浅間福祉会	森山区	3
	一ツ谷区	3
	大久保区	3
社会福祉法人 愛灯園	石峠区	2
社会福祉法人ジェイエー長野会	森山区	3
	耳取区	2
特定非営利活動法人憩いの家・野いちご	御影区	2
	御影地区	
4事業所	延7地区	18



●課題

＜供給側の課題＞

- ・要望があっても介護保険事業所がない地区がある
- ・実施事業所同士の課題を共有する場がない

＜ニーズ把握・対応の課題＞

- ・どのように情報発信を行い、ニーズを集約するか

●今後の展開

- 車両および運転手の協力だけでなく、車両のみの提供など様々な供給の方法を検討
- 介護保険事業所のみならず、民間企業等との連携について検討
- 移動支援を行っている事業所間の意見交換の場の設定

有償生活支援サービスの仕組みづくりに向けて

～生活支援体制整備事業～

●これまでの振り返り

- ・本会議（R6.8）の中で、「雪かき・草刈りが小諸市の高齢者の課題ではないか」という課題が出る。
- ・市内居宅介護保険事業所及び地域包括支援センターに聞き取り調査を実施。

→雪かき・草刈りの他、「専門職に頼むほどではないが助けが欲しい」高齢者がいる。しかし、その手立てが少ない現状がある。「有償生活支援サービスの仕組み」をテーマに設定。

●ニーズの把握

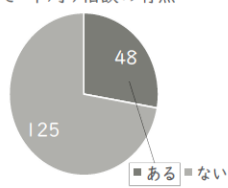
①区長、民生・児童委員、シルバー人材センター、ボランティアセンター、小諸市役所、介護保険サービス事業所へ「ちょっとした困りごと」についてアンケート調査を実施

②すでに事業を実施している、佐久圏域の社会福祉協議会に聞き取りを実施

～調査対象者へのアンケート結果～

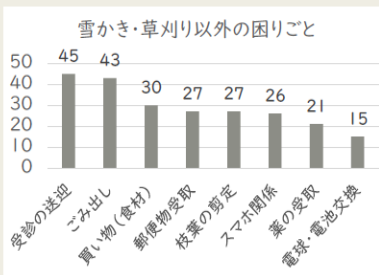
問1 雪かき・草刈りに関する相談を受けたことがありますか？

雪かき・草刈り相談の有無



雪かき・草刈りについては約3割の人が「相談を受けたことがある」と回答しました

問2 ちょっとした困りごととして、どんな相談を受けたことがありますか？



★キーワード

「気軽さ」「つながりづくり」

☆最終目標

小諸市内の高齢者の「ちょっとした困りごと」※を解決する仕組みをつくる！

令和7年度は

※①少し手を借りることができれば解決するもの ②専門業者の手が不要なもの

小諸市版有償生活支援サービスを試行的に実施

～小諸市版有償生活支援サービス（試行内容）～

項目	試行
対象者	試行区に居住する ①友愛訪問対象者 ②地域包括支援センターが関わっており、本事業の対象となり得る方
実施者	地域住民 生活支援コーディネーター※原則同行して支援
時間	原則平日 9:00～16:00（概ね1時間以内） ※申し込みは希望日の1週間前まで 対応は希望日の週のいずれかの平日
実施内容	専門職・専門業者の手が不要なちょっとした困りごと全般
マッチング方法	小諸市社会福祉協議会に連絡し、事前予約
単価	費用無料（原則、1世帯1回上限）
広報	チラシを配布
保険	福祉サービス総合補償へ加入（保険料は自己負担）
備考	対応困難の場合は他企業と連携



困っている声を集める方法をグループワークにて検討しました。

『手段』（個別訪問やチラシによる周知）と『場所』（達人区らぶ、区長会、民生・児童委員、地区会）などでの周知が有効的でないか。

→グループワークで出た意見をもとに、7月～8月の試行に向け準備をしていきます。